１年生　総合的な探究の時間
アイマスク・車いす体験

　アイマスクを装着し、視界が遮られている中で階段や点字ブロックの上を歩くなど様々な体験を行いました。
　２人１組で行い、介助者役としてサポートする側の立場も経験することができました。

階段あと2段だよ　大丈夫、大丈夫！信じて！

　車いす体験では4～6人のグループとなり、ただ押すだけではなく、スロープを通ったり、階段で持ち上げたりする体験も行いました。

疑似体験を行い、共生社会を考える上で「自分たちにできることは何か」ということを考えるきっかけとなりました。

＊　生徒の感想　＊

・アイマスク体験をして、普段何も思わず歩いていた道がとても怖く感じた。視覚障がい者の人たちは白杖を使って知らない道を歩いていると考えるとすごいと思った。しかし、横断歩道での事故が多いと知ったので、困っている方がいたら積極的に声を掛けようと思う。

・体験することで、点字ブロックのありがたみが分かった。

・車いす体験では階段などの段差が難しく、スロープのありがたさを実感することができた。

・アイマスク・車いす体験どちらも声掛けを丁寧にしてくれると安心できたので、自分も介助者となるときは声掛けを意識していきたいと思った。